

フィリップ・ガレル監督作品 ルイ・ガレル主演

恋人たちの 失われた革命

*Les Amants
Réguliers*

2005年ヴェネツィア国際映画祭 銀獅子賞・オゼッラ賞

1968年5月、パリ——。世界を変えられると思っていた。そして、この愛は永遠に続くと思っていた。



Après le rejet de la
Commission de censure

ance-soi

RISE : 1^{er} CONTACTS ENTRE

Nouvelles
bagarres
cette nuit au
Quartier Latin
entre de jeunes manifestants
et les forces de police

GOVERNEMENT
ET SYNDICAT

La négociation pour
commencer ce week-

Un Film de Philippe GARREL
Louis GARREL dans

Avec Clotilde HESME, Julien Lucas, Mathieu Genet, Maurice Garrel
Scénario et dialogues: Philippe GARREL, Arlette LANGMANN, Marc CHOLODENKO

Image: William LUBTCHANSKY Musique: Jean-Claude VANNIER

Œuvres: "Vegas" par Nico et "This Time Tomorrow" par The Kinks
2005 / France / 182min. / 35mm / Noir et Blanc / 1.33 / DOLBY SR

Distribué par Bitters End, Inc.

恋人たちの失われた革命

Les Amants Réguliers

2005年ヴェネツィア国際映画祭 銀獅子賞(監督賞)・オゼッラ賞(技術貢献賞) | 2006年セザール賞 最優秀新人男優賞

一つの世代の飛躍と凋落。全てが真実、全てが的確。——ユマニテ ☆☆☆☆

驚くほど強烈で的確、そして優雅。ガレルは68年のパリの出来事と時代の空気、思想、愛を巧みに再現している。完璧だ!——スタンパ ☆☆☆☆

素晴らしい!ベルトルッチの『ドリーマーズ』に対する返答であり、修正である。——ニューヨーク・タイムズ ☆☆☆☆



世界を変えられると思っていた。
この愛は永遠に続くと思っていた。

1968年。5月、パリ。二十歳の詩人フランソワは兵役を拒絶し街へ出てゆく。そこには、機動隊と激しい闘争を繰り返す、彼と同じく失うものはない若者たちが大勢いた。ある日、フランソワは彫刻家を目指す美しい女性リリーと出会う。二人は一瞬にして恋に落ちる。

1969年。若者たちはパーティー、アヘン、セックス、享楽に溺れ、夢や理想、そして「革命」でさえも、語るだけの日々を過ごすようになっていた。混沌とした時代の中で、皆が連鎖反動的に不安や憤りに囚われ、それぞれに新しい「何か」を渴望していた。また、この愛が永遠に続くお互いに信じていたフランソワとリリーも、新しい居場所を求め始めて…。

時を越えて二つの人生が交錯する。

「この映画を息子ルイと共に作ろうと思った。この物語は私がルイの年頃に経験したことに基づいている」と、フィリップ・ガレル監督は最新作『恋人たちの失われた革命』について語っている。1968年、パリの五月革命を舞台に、父フィリップの「二十歳の情熱と絶望」を、むせ返るほどの魅力溢れる二十歳の息子ルイが繊細かつ真摯に好演し、激動の時代をまるごと描き込んだ壮大な抒情詩が完成した。フィ

リップ・ガレルは「一組のカップルが誕生するということは歴史が出会うことだ」と一貫して自伝的要素を色濃く反映させながらも、男と女、愛の誕生と喪失をストイックに表現し続けてきた。そして、本作は「夜の革命家たちと、いつもの恋人たちとを結びつける、野心的な試み」(カイエド・シネマ)と絶賛され、彼が追求し続ける「愛の物語」と「情熱の革命の物語」とが見事に融合し、詩的で美しい至上のラブストーリーがここに誕生した。

親密なコンビネーションの結実。

主演はベルナルド・ベルトルッチ『ドリーマーズ』で鮮烈な印象を残し、今後もフランソワ・オゾン作品などが待機している新鋭ルイ・ガレル。白いシャツに真っ黒な巻き髪、彫刻のように端正な横顔。本作のモノクローム映像はルイの神々しいまでの美しさをより際立たせ、圧倒的な存在感で2006年セザール賞最優秀新人賞を受賞。他のキャストに父親モーリス、ルイの母ブリジット・シエを起用し、ヒロインには学生時代にガレル監督から演技指導を受けた新人のクロティルド・エスムが大抜擢された。撮影はゴダールやイオセリアーニなど巨匠たちの作品を数多く手掛ける名カメラマン、ウィリアム・ルブジャンスキー。前作『白と黒の恋人たち』に引き続き音楽を担当したジャン＝クロード・ヴァニエ。フィリップ・ガレル監督のアイデンティティを象る親密なスタッフたちが集結した。

監督:フィリップ・ガレル(『夜風の匂い』、『白と黒の恋人たち』) 出演:ルイ・ガレル(『ドリーマーズ』)、クロティルド・エスム、モーリス・ガレル 撮影:ウィリアム・ルブジャンスキー 音楽:ジャン＝クロード・ヴァニエ
劇中曲:ニコ[Vegas]、キンクス[This Time Tomorrow] 2005年 | フランス | 182分 | 35ミリ | モノクロ | 1:1.33 | ドルビーSR 原題:Les Amants Réguliers 配給:ビターズ・エンド

www.bitters.co.jp/kakumei

写真美術館で観る映画シリーズ vol.28

1月2日(火)より激動のロードショー!

特別鑑賞券¥1,500(税込) 絶賛発売中!—劇場窓口でお買い求めの方にオリジナル・ポストカードをプレゼント!!

上映時間:●1/2(火) 3(水) 4(木)—[11:15 | 14:40] ●1/5(金)より—[10:40 | 14:10 | 17:40] ●1/2, 3, 4日ご来場の方に先着でプレゼント有り! ●各回定員入替制 ●月曜休映(内観日や祝日・振替日の場合、その日が休映)
●次の方は当日料金が割引になります……○東京都写真美術館で開催する写真展半券持参の方 ○東京都写真美術館友の会会員の方 ○三越カード、アトレカード持参の方 お問い合わせ:ビターズ・エンド TEL03-3462-0345

JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分、地下鉄日比谷線恵比寿駅より徒歩10分
恵比寿ガーデンプレイス内

東京都写真美術館ホール

Tel.03-3280-0098 <http://www.syabi.com>

